

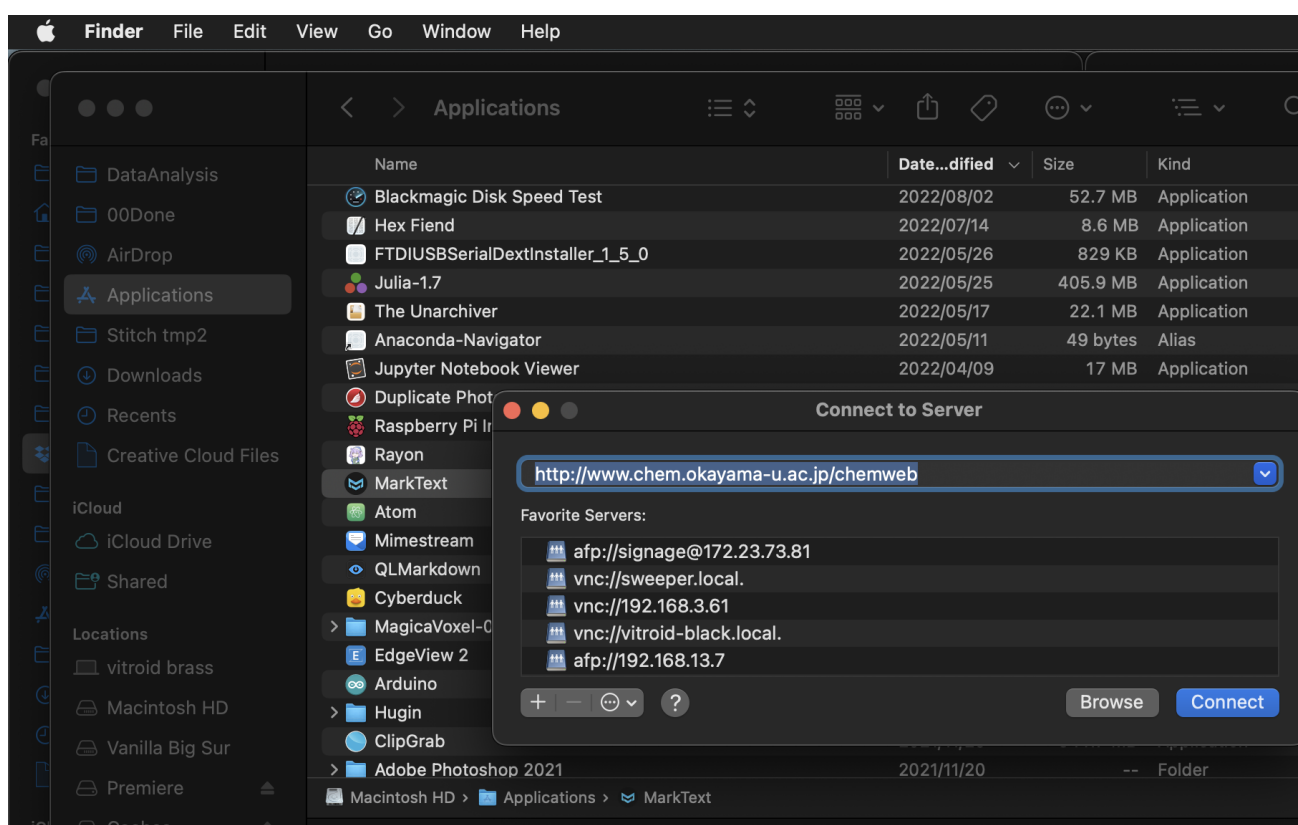
ウェブページの編集方法

化学科ウェブサーバへ接続

コンテンツはウェブサーバ上にあり、WebDAVプロトコルでアクセスできます。

MacOSの場合

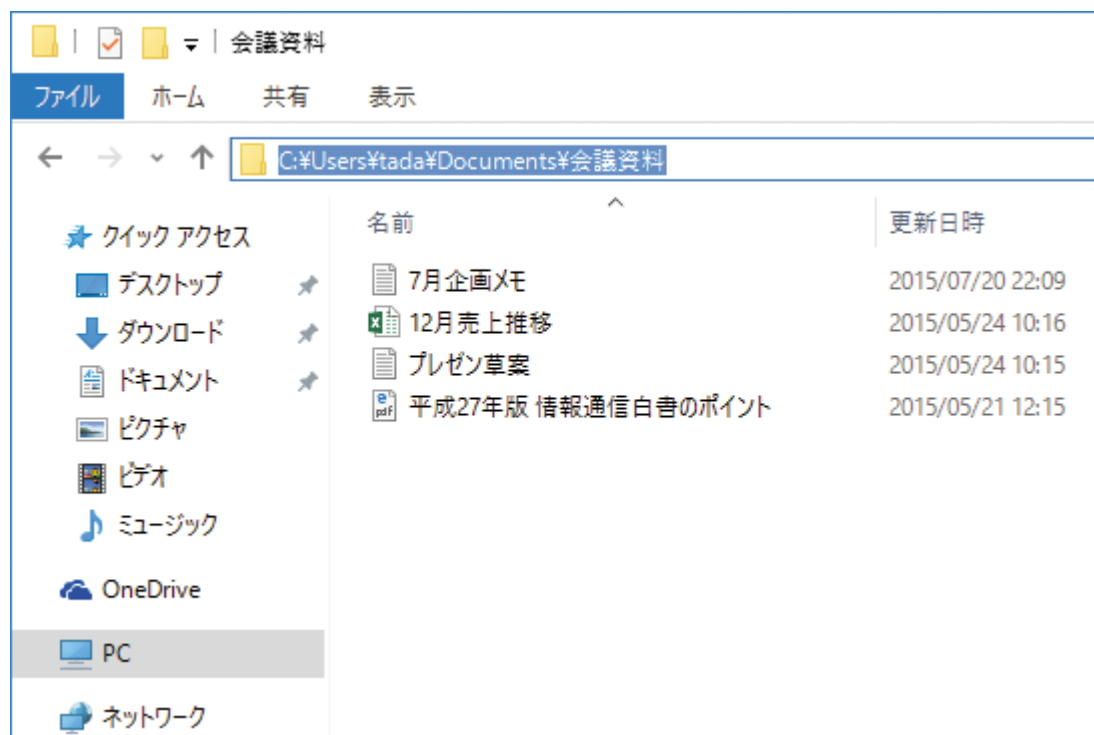
1. Finderで⌘Kを押し、<http://www.chem.okayama-u.ac.jp/chemweb>にアクセスします。(学内からのみ)



2. 「ゲスト」を選択します。

Windowsの場合

1. Explorer (Internet Explorer/Microsoft Edgeのことではありません) のアドレスバーに <http://www.chem.okayama-u.ac.jp/chemweb> と入力します。(学内からのみ)



フォルダーに移動

ディレクトリが細かく分かれています。おおまかに言って、文書は `content/` 以下に置き、画像やpdfなどのファイルは `static/` 以下に置きます。これらの場所が違うのは、前者が多言語に対応する必要があるのに対し、後者は共通だからです。例えば、教員の個人ページは、`content/faculty` の中にあります。以下に、主要なフォルダーの用途を示します。

フォルダー	用途
content/about	「化学科について」記事。今は未使用
content/bachelor	学部入学情報記事
content/blog	ニュース記事(過去のできごと)
content/contact	「お問い合わせ」記事
content/event	イベント記事(これからの予定)
content/faculty	教員紹介
content/graduate	大学院関連記事
content/internal	学科内向け記事
content/laboratory	研究室紹介
content/research-topic	注目の研究の紹介
static/images	画像置き場
static/pdf	PDF置き場

文書ファイルの形式

文書ファイルの拡張子は `.ja.md` (日本語) または `.en.md` (英語) です。ただのプレーンテキストファイルなので、テキストエディタでも編集できますが、[MarkText](#)の利用をおすすめします。[VSCode](#) もおすすめです。

新しい記事を作成する場合は、すでにある記事(`1.ja.md` など)をコピーして書きかえて下さい。次節で説明するように、ページの先頭部分にある「フロントマター」とよばれるパラメータ定義部分が正しく書かれていないと、意図しない場所に表示される可能性がありますので、新規作成はおすすめしません。

文書ファイルの構成

フロントマター

文書ファイルの先頭に、`---`で上下を区切られたブロックがあります。このブロックの中はページの設定(見出し画像やキーワード、リンクなど)を書きます。

教員の肖像写真や、研究室の見出し写真、ヘッダ部分の横長の画像もここで指定します。

本文

本文は、上記のブロックの下にMarkdown書式で書きます。

Markdown書式について

テキストファイルに記号を追加することで、簡単に書式を指定する書き方です。書き方については、[リンク先](#)をご参照下さい。

[MarkText](#)を使えば、Markdown書式を覚えなくても、文章を整形できます。

(注: MarkTextはいろいろバグも多い感じですが、フロントマターと本文を分けて編集できるところが便利です。)

プレビュー

プレビューサイト <http://www.chem.okayama-u.ac.jp:1313> で学内から即時にプレビューできます。

本番サイトへ反映

化学科のウェブページに公開する作業はウェブ管理者が行います。(将来は24時間に一回自動で行うようにします。また、そのタイミングでバックアップを作成します。)